



八潮市から三ツ星第1号認定を受けた「マインドスクエア
八潮 やすらぎの家」の完成予想図（下は認定証授与式）



八 潮

「街並み景観・
分譲住宅」認定

「やすらぎの家」に三ツ星

八潮市は昨年9月創設の
「八潮らしい街並み景観・
分譲住宅制度」の「第1号
三ツ星」に、戸建て分譲事
業の「中央住宅」（本社・

越谷市、品川典久社長）
が企画・設計した「マイン
ドスクエア八潮 やすらぎ
の家」（同市伊草、全11棟）
を認定した。14日、同市役
所で認定証授与式が行わ
れ、大山忍市長から、品川
社長に認定証が贈られた。

同制度は50年、100年

先を見据えた「八潮らしい
街並みづくり」の推進のた
め、「やしお家づくりデザ
インマナーブック」（20
13年作成）に示した要件
を踏まえた新築戸建て分譲
住宅を認定するもの。認定

基準22項目を設定、満たし
た数に応じて、「1から3
までの星」を授与する。

最高評価の三ツ星第1号

に認定された「マインドス

クエア」は22項目中18項

目が適合したという。「人

と木がつながる『休らぎ』

の家」「子育て家族がつな

がる『安らぎ』の家」をう

一マニ、木目調の外壁や木

のぬくもりを感じる室内、

オープンな外構などの住宅

となっている。

また、連続性のある切り

妻屋根で統一し、オリーブ

やドウダンツツジなどの中
高木を植え、全棟に子ども
の食育につながる実のなる
木を植栽し、ベンチなども
配置されている。各棟約1
00～122平方㍍の2階
建て。8月完成予定。

授与式で大山市長は「地
域貢献として大きな力をい

ただいた。官民と地域が協
力して、『住みやすさナン
バーワンのまち八潮』を実
現したい」と述べた。中央
住宅の品川社長は「幸せの
まちづくりというプラスグ
ループのコンセプトと、八
潮市の理念が合致した」と
話した。